

有害プランクトン情報 (令和2年度 - No. 9)

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所・生産技術研究室
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては、魚類や二枚貝などに影響を与えるので、毎月1回有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

なお、カレニア ミキモトイについて、12月4日には注意報、12月9日には警報を発出しました(12月23日に解除)。

○ 調査日	沖合	12月 第1回	内湾 (8地点)	12/7	内房 (7地点)	12/7	
		12月 (臨時調査)	内湾 (8地点)	12/11	内房 (1地点)	12/11	※勝山養殖場
		12月 第2回	内湾 (8地点)	12/21	内房 (7地点)	12/22	

東京湾(内湾)**【有害プランクトンの出現状況】**

- 3回の内湾調査でカレニア ミキモトイがみられました。(カレニア属は100細胞/mL以上で注意報を発出します)
 - ・12/7 船橋沖～盤洲北部:最高密度はアクアライン南部の0.7細胞/mL
 - ・12/10 富津沖、アクアライン南部、船橋沖、盤洲南部:最高密度は富津沖、盤洲南部の0.15細胞/mL。
警報および注意報の基準に達した地点はなし
 - ・12/21 内湾の全域:最高密度は千葉沖の2.7細胞/mL
- 同種は水質保全課、千葉県環境研究センターの調査時にもみられており、今後の動向に注意が必要です。
(水質保全課)
 - ・12/1-3: 京葉港沿岸 (400細胞/mL)、市川・船橋沖 (600細胞/mL)、千葉沿岸 (500細胞/mL)、
湾中央 (40細胞/mL)
 (千葉県環境研究センター)
 - ・12/8 : 千葉沿岸 (200細胞/mL)、幕張沖深掘部 (1200細胞/mL)
 - ・12/22 : 浦安沿岸 (60細胞/mL)、千葉沿岸 (30細胞/mL)
- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属は確認されませんでした。
 - ※ 赤潮 (透明度 1.5 m 以下, pH 8.5 以上, 酸素飽和度 150 %以上) は確認されませんでした。
 - ※ シャットネラ属は1細胞/mL, シュードシャットネラ属は100細胞/mL, ヘテロシグマ属は1,000細胞/mL, カレニア属は100細胞/mL以上で注意報を発出します。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
 - 確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
 - 3回の内湾調査でディノフィシス アキュミナータがみられました。
 - ・12/7 内湾の全域:最高密度は盤洲南部の1.0細胞/mL
 - ・12/10 アクアライン南部～船橋沖、盤洲北部～南部:最高密度はアクアライン南部の0.3細胞/mL
 - ・12/21 アクアライン南部:密度は0.1細胞/mL

- 3回の内湾調査でディノフィシス ロツンダータがみられました。
 - ・12/7 富津沖～アクアライン北部、盤洲南部：最高密度は盤洲南部の0.15細胞/mL
 - ・12/10 アクアライン南部～北部、盤洲北部～南部：最高密度はアクアライン南部の0.2細胞/mL
 - ・12/21 アクアライン南部：密度は0.1細胞/mL

○ 貝毒の被害情報はいずれの日もありませんでした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

東京湾(内房)

【有害プランクトンの出現状況】

- 2回の内湾調査でカレニア ミキモトイがみられました。(カレニア属は100細胞/mL以上で注意報を発生します)
 - ・12/7 第2海保、浦賀沖：密度はそれぞれ0.3細胞/mL、0.05細胞/mL
 - ・12/21 第2海保～勝山沖：最高密度は大貫沖の0.65細胞

○ シャットネラ属、シュードシャットネラ属、ヘテロシグマ属、カレニア属は確認されませんでした。
 ※ 赤潮(透明度1.5m以下、pH8.5以上、酸素飽和度150%以上)は確認されませんでした。

【貝毒原因プランクトンの出現状況】

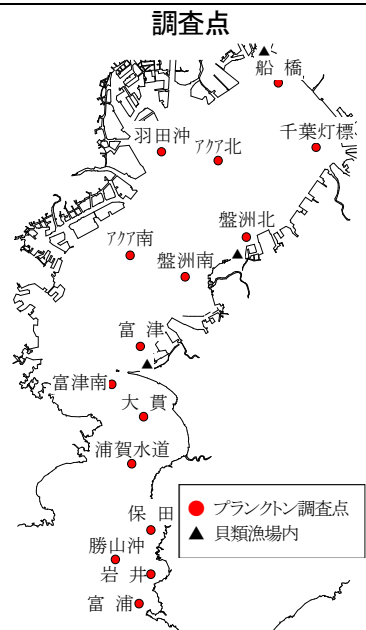


1 麻痺性貝毒原因プランクトン

○ 確認されませんでした。

2 下痢性貝毒原因プランクトン

- ディノフィシス アキュミナータは12/7に2海保でみられ、最高密度は第2海保の0.15細胞/mLでした。
- ディノフィシス ロツンダータは12/22に保田沖でみられ、密度は0.05細胞/mLでした。
- 貝毒の被害情報はいずれの日もありませんでした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたプランクトンの優占種			調査点 
12/7	内湾・内房	明確な優占種はなし	
12/10	内湾	珪藻 スケルトネマ属、タラシオネマ属など	
12/21,22	内湾・内房	珪藻 スケルトネマ属、タラシオネマ属など	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>スケルトネマ属 (12/21 アクアライン南部)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>タラシオネマ属 (12/21 富津沖)</p> </div> </div>			
連絡先：千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所 〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp			